

サルの苑タイムズ

救急蘇生法の苑内研修を実施

心肺蘇生とAED使用の習得を

花の苑事故対策委員会（林寛美委員長）ではこのほど、高崎市等広域消防局より担当講師を迎え、救急蘇生法の苑内研修を実施しました。

心肺蘇生とAEDの使用（救命処置の流れ）についての理解と習得が求められています。

Dの効果を高め、心臓の動きが戻った後、後遺症を少なくするためにも重要と指摘されています。同委員会は、こうした認識を職員間で共有するため、これまでも救急蘇生法の苑内研修を定期的に行ってきました。



交流作品展を開催「あすなる」

地域交流の一環で行っている『交流作品展』は現在、新高尾公民館で活動が続いている水彩画グループ「あすなる」の皆様による、水彩画作品7



点を展示しています。（一号館二階展示コーナー／三月上旬まで予定）

令和7年2月15日発行
第125号
〒370-0002
高崎市日高町433-1
TEL：027-329-7211
社会福祉法人健康生会
特別養護老人ホーム
高崎花の苑広報委員会

健康を願い節分行事を（2月2日）

節分は季節を分けるという意味で、邪気を払って、健康を願う季節行事の一つ。苑内では皆様の健康長寿を願い、節分行事が行なわれました。



一号館ASユニットでは年男の男性職員が、本来なら豆をまくのが年男の役目ですが、この日は鬼役になって大活躍。豆は運動会で使う玉入れ競争の玉を使用し、「鬼は外！」の利用者様の元気な声フロア内に響き渡っていました。

又、BCユニットでも毎年恒例の節分イベント。新聞紙を丸めた豆を持って、皆様が円になって待機する中、職員が扮する鬼が、満を持して登場すると、一斉に「鬼は外ー！」「福は内ー！」との掛け声とともに、利用者様らが豆を投げて邪気払いを行いました。（ASユニット U）（BCユニット N）



運営推進会議開く

今年度第五回目となる運営推進会議が一月三十日、高崎花の苑会議室にて行われました。

ここでは、加藤施設長から、概ね一月現在の入所稼働状況（全体稼働率95・7%）や職員配置状況などについて詳細なデータをもとに報告を行いました。

このうち職員の充足状況について、現在のところ業務遂行に影響なく推

「春がすぐそこに」カメラスケッチ



（市内染料植物園）

移しているものの、「25年問題」に突入したことから人材確保は、どこかの施設でも厳しいとの認識を示し、参加者とともに共有を図りました。

この他、地域交流について、新高尾公民館で活動する水彩画グループ「あすなる」の皆様による交流作品展について説明がありました。

ユニットたより

「絵馬に健康祈願」

EFユニットでは一月行事で新年会を行い、新しい年のスタートを切りました。

当日は職員が手作りの絵馬に、今年の抱負やお願い事を皆様に書いてもらいました。絵馬には「今年一年健康で過ごしたい!」とのご自身とご家族の健康に関する願いが多くありました。

壁に飾った色紙で作った鳥居に、絵馬を吊るすように貼り付けて完成。それを見た杉山様は「いいね、正月らしく、いろいろ書いてあって面白いいね」と話していました。その後は甘酒とお汁粉で新年を祝賀。定番とは言え、皆様から「美味しいね!」との多くの声がありました。



上がりました。

この日は又、一月生まれの内田様と伊藤様の誕生祝いも。二重のお祝いに伊藤様はプレゼントを握りしめて、満面の笑顔で喜びを表していました。

(E・Fユニット N)

「おやつレクで祝賀」

HIユニットでは、新春を祝う一月行事の中で、皆様からリクエストされた「おやつレク」を連続実施しました。

はじめに珈琲好きな職員が中心になり、豆から



の代わりに麩を使い食べやすく工夫。甘酒、お汁粉ともに大人気で三杯お代わりされる方もいて、あつと言う間にお鍋の中

祝賀行事で新年をスタート 甘酒やお汁粉と歌の調べ

挽いた本格的珈琲を飲んで頂くことに。フロアを喫茶店に見立て、皆様の前で珈琲をドリッブし、香りと共に深い本格珈琲を味わって頂きました。その翌日は、お汁粉と甘酒作りを。お汁粉は餅



は空になり「もう無いの?」と残念がる方もおられました。

そして連続レクの最後は近く迎えるバレンタインデーにちなみ、チョコレート作りを行い賑やかな時間を過ごしました。(H・Iユニット H)

「新春寿ぐ歌会」

GSユニットの新春一月行事は、秋に行ったウクレレバンド「タンポポ」の、冬バージョン演奏会を。「もうすぐ春、ウクレレの響きに合わせ歌のひとつ時をー」が今回のテーマで、冬の曲を中心に皆さんに大いに歌って頂きました。

事前に歌集を皆さんに配ると冬の曲「たき火」



歌はその時代を思い出させる力があり、この日の皆さんは元気に、そして懐かしそうに「あの頃」を思い浮かべながら歌っていました。(G・Sユニット Y)

「雪の降る街を」をはじめ「ドレミの歌」や「恋の季節」など懐かしい曲がずらり。数日前から楽しみにされていた小熊知子様は、「恋の季節」がお気に入り、帽子のつばを触りながら、足をクロスさせ振付を楽しんでいました。



委員の一言メモ

★我が家にあるミカンの木、今年、初めて人様にあげられるほどに甘くなりました(由) ★炬燵に入ると気持ち良くて、ついつい寝てしまう毎日です(努) ★もうすぐバレンタインデー。毎年手作りしていますが、今年は何にするか模索中です(彩) ★暖かい日が多いと思ったら、突然の寒波。春が待ち通しく、梅の花が楽しみです(沙) ★お正月から不摂生が続き、口内炎が頻発。気を付けなければ!(山) ★イチゴのパックを購入し、一粒食べたら止まらず気付けば、ワンパック完食してました(芳) ★今や節分の定番となった恵方巻。ユニット行事ではロールケーキが提供され、鬼の形にトッピングしたりと楽しまれていました(美) ★久々に観音山・染料植物園へ。今季、一番の寒気に包まれる中、春を予告する福寿草をカメラに。『寒風の斜面にぼつり福寿草』(井)